

# ○加工施設における那珂市屋内退避及び避難誘導計画－概要版－

この計画は、「那珂市地域防災計画（原子力災害対策編）」（以下、「地域防災計画」という。）に基づき、三菱原子燃料株式会社（以下、「三菱原燃」という。）における加工施設において、原子力災害が発生、又は発生するおそれがある場合に、市民等に対する放射線の影響を最小限に抑えるための防護措置を確実に実施できるよう必要な事項を定めるもので、その概要は次のとおりである。

## 1 計画の対象地域及び範囲

加工施設は、国の基準を踏まえ、「茨城県地域防災計画（原子力災害対策計画編）」において、原子力災害対策重点区域の範囲を加工施設から約1km 圏内を「緊急防護措置を準備する区域」（以下、「UPZ」という。）としていることから、本市における防護措置対象地域は「本米崎」及び「向山」とする。

### 【原子力災害対策重点区域】

対象事業所	許可等区分	原子力災害対策重点区域		
		区域の範囲	対象地域	人口
三菱原燃	加工	UPZ 約1km	本米崎 向山	1,573人

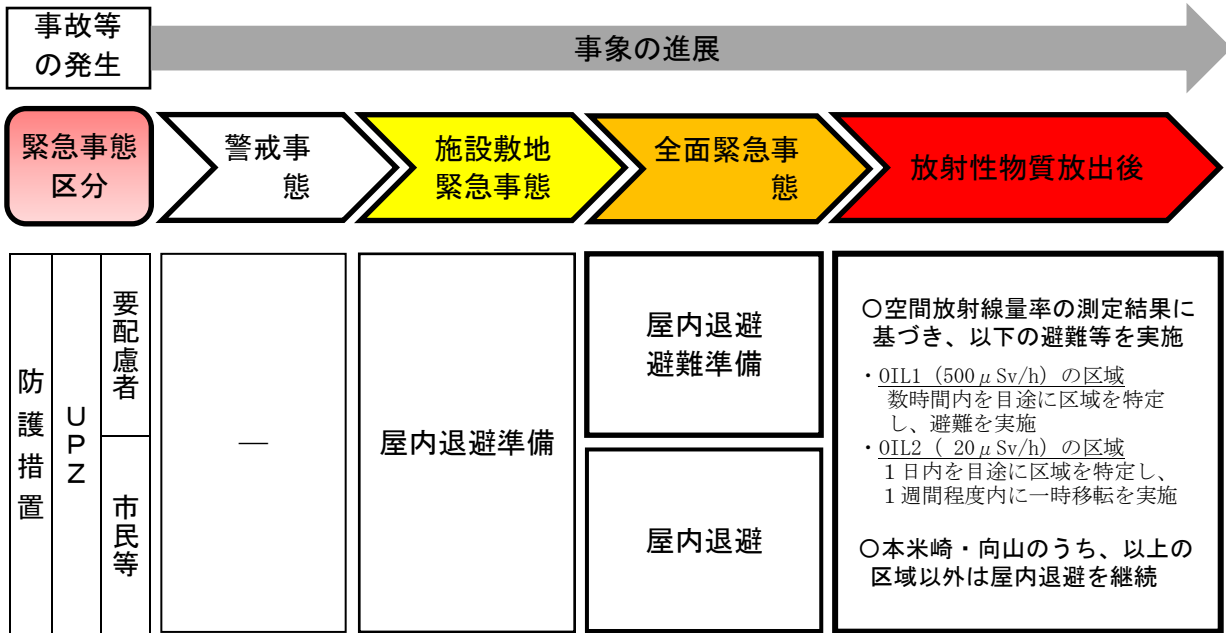
## 2 避難の判断基準と実施

防護措置の準備及び実施は、地域防災計画や原子力災害対策指針に基づき、UPZ内における防護措置は屋内退避を基本とする。

さらに事態が進展し、放射性物質の放出に至った場合には、あらかじめ紐づけるモニタリングポストで測定される放射線量の測定値が基準に該当した区域に対して「一時移転」又は「避難」の指示を行う。

- ✓ 市民等は、施設敷地緊急事態で屋内退避の準備を開始し、全面緊急事態で屋内退避をする。
- ✓ 要配慮者は、施設敷地緊急事態で屋内退避の準備を開始し、全面緊急事態で屋内退避をするとともに避難準備を開始する。
- ✓ モニタリングポストと避難単位をあらかじめ紐づける。

【防護措置フロー】



【モニタリングポストと避難単位】

モニタリングポスト	避難単位
本米崎局	本米崎
三菱原燃局	向山



### 3 避難所

避難単位は地区ごととし、市民等は市が定めた避難経路に従って避難所に避難する。その際、まずは、中継避難所に向かう。

- ✓ 市民等の避難を円滑に行うため、「中継避難所」を設ける。
- ✓ 避難所は、はじめに中継避難所から避難者の受入を行い、その後の避難状況に応じて、順次、別の避難所を開設する。
- ✓ 避難経路は、那珂核融合線を主な避難経路と定める。
- ✓ 避難退域時検査は、中継避難所をはじめ、原則として開設する避難所等にて実施する。
- ✓ 開設する避難所以外（UPZ圏外の親戚・知人宅等）へ避難するにあたっては、避難退域時検査により放射性物質の付着がないことを確認したうえで移動する。
- ✓ 安定ヨウ素剤の緊急配布は、中継避難所にて行う。

#### 【中継避難所及び避難所等】

地区	主な避難経路	中継避難所	避難所
本米崎	那珂核融合線	ふれあいセンターよこぼり	ふれあいセンターよこぼり 横堀小学校 額田小学校 那珂第二中学校 木崎小学校
向山			

### 4 避難手段

避難手段は、自家用車での避難を基本とする。

自家用車による避難が困難な市民等は、一時集合所又は中継避難所へ移動したのち、県が手配したバス等により避難する。

- ✓ 渋滞の抑制や避難所での駐車場の確保の観点から、可能な限り乗り合いに努める。
- ✓ 在宅の避難行動要支援者は、避難支援等関係者（民生委員、消防団、自主防災組織、自衛隊等）の協力を得て、あらかじめ定められた個別計画等に基づき避難する。
- ✓ 向山地区には、一時集合所は設けない。（中継避難所へ向かう）

#### 【一時集合所】

地区	一時集合所
本米崎	旧本米崎小学校
向山	— (一時集合所は設けない)

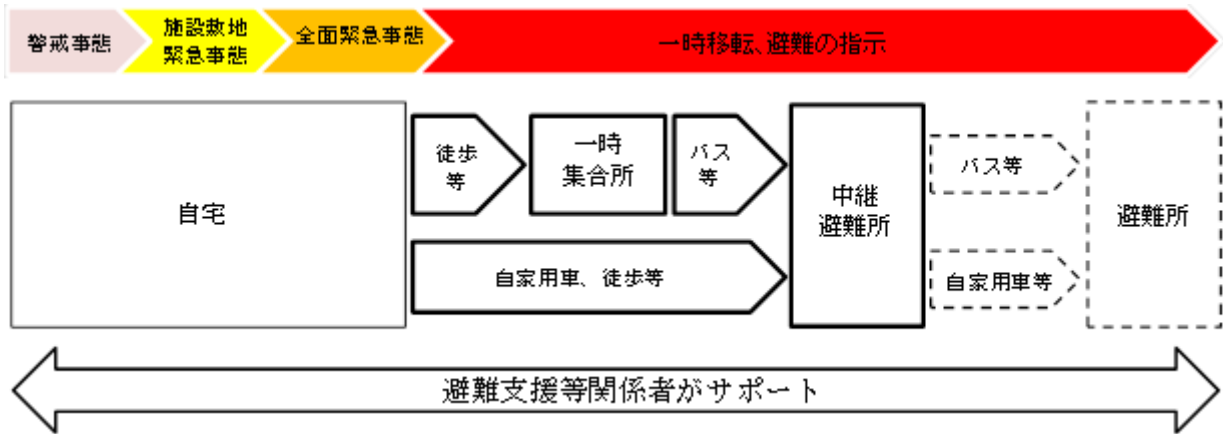
## ○一般市民の避難

### 【基本的な避難フロー】



## ○在宅の避難行動要支援者の避難

### 【基本的な避難フロー】



## 5 複合災害への対応

複合災害への対応は、以下のとおりとする。

- ✓ 避難所が被災し避難の受入れが困難となった場合、市は県と連携し、早期に第二の避難先を確保する。
- ✓ 主な避難経路が被災した場合に備え、避難先の方向に対し、代替避難経路を定める。
- ✓ 東海第二発電所との同時発災の場合、必要に応じて柔軟に対応を切り替え、東海第二発電所の事態が悪化する見込みであれば、東海第二発電所の防護措置を採ることとし、当初から30km圏外の避難所に避難するよう指示を出す。

### 【第二の避難先候補地】

	隣接市町村・隣々接市町村（行政順）
東海・那珂地区	水戸市、日立市、常陸太田市、ひたちなか市、常陸大宮市、大洗町、城里町

### 【代替避難経路】

地区	主な避難経路	代替避難経路
本米崎	那珂核融合線	常陸那珂港山方線
向山		国道6号～瓜連馬渡線

## 6 今後の課題

本計画の実効性を高めるため、引き続き以下の事項について検討を進め、その結果を本計画に順次反映させていく。

### (1) 避難行動要支援者の支援体制

- ・在宅の避難行動要支援者の支援体制
- ・移動手段の確保

### (2) 安定ヨウ素剤の配布体制

- ・緊急時における効率的な配布方法

### (3) 避難退域時検査体制

- ・避難退域時検査を実施する要員の確保、資機材の調達、実施場所の確保

### (4) 避難状況の確認

- ・避難所への避難状況を迅速・正確に確認できる体制

### (5) 複合災害への対応

- ・災害対策本部機能の維持

### (6) 一時滞在者の避難誘導體制

- ・一時滞在者への対応